

きらめき



本日、2学期の始業式を迎えました。この夏は、雨天が多く、また、後半は残暑が大変厳しかったですね。児童生徒のみなさん、そして御家族の皆様、体調いかがお過ごしでしたか。日頃、なかなか会えない人に会ったり、出かけられないところへゆっくり出かけたり、じっくりと何かに取り組んだり・・・思い出がたくさんできましたか。

2学期はそれぞれの学部で、大きな行事や様々な学習活動が予定されています。児童生徒のみなさんの健康・体調に留意しながら、充実した学期にしていきたいと思います。



♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ * ♪ *

いのちと安全を守る

(2学期始業式の話) 校長 鈴木 裕子

今日は、私から、大きな地震が起こった時に皆さんの安全・いのちを守るための訓練についてお話します。

今日9月1日は、何の日か、知っていますか？

今日9月1日は、防災の日です。94年前にこの地域に関東大震災という大変に大きな地震が起きました。「災害は忘れたころにやってくる」のを忘れないために、過去の大きな災害の節目で、日頃の備えを見直すことはとても大切なことです。

来週の9月8日(木)は、地震・火災の避難訓練を行います。その中で、自分の身体の安全を確保する訓練「いっせい防災行動訓練(シェイクアウト)」を行います。

それは、緊急地震速報を聞いて、1分間、自分の身の安全を守る行動を取る訓練です。

実際の行動については、次の合言葉で具体的に示されています。



机・テーブルやベッドの下などにもぐる事が出来ない時は、座布団やカバンを頭の上ののせたり、手で頭を抱えたりするだけでも良いので、まず頭を守りましょう。

① 大きな揺れを感じたら、(あるいは緊急地震速報を聞いたら)

どんなふうに、自分で頭を守るか? どんなふうに、周りの人に守ってもらうか?

② 日頃過ごす場所で、

落ちてくるものはないか? 倒れてくるものはないか?

この機会に、先生やおうちの人と見直したり相談したりしましょう。

いのちと安全をまもる取り組み

夏季休業中にさまざまな研修会や訓練等に実施しました。校内職員のみを対象にした事業も多々ありましたが、外部にも公開して、地域の方々や保護者の皆様と一緒に実施した取り組みもあります。その中から、「いのちと安全をまもる」に特に関連深い事業を紹介します。

7月26日（水）防災シミュレーション

西久保自治会役員・茅ヶ崎市防災課職員と一緒に、大規模災害が発生したことを想定した、福祉避難所設営訓練を実施しました。

- (左)
災害用トイレの設営
- (右)
炊き出し訓練



7月27日（木）摂食研修会 「楽しい食事 『食べる』を考える」

松井新吾歯科医師（松井歯科医院）を講師に迎え、安全な食事について研修しました。摂食嚥下のメカニズムについて基礎基本を改めて確認し、2学期以降の安全な摂食指導につなげてまいります。歯科校医の山田先生を始め、地域の歯科医療の関係者のみなさん、本校の保護者の参加もいただきました。



8月23日（水）24日（木）心肺蘇生法研修

茅ヶ崎市消防署・茅ヶ崎市応急手当普及協会のみなさんに講師になっていただき、胸部圧迫・人工呼吸・AEDの使用について、全職員が研修しました。

毎年繰り返し研修し、いざという時、適切な対応ができるようにしてまいります。

8月30日（水）福祉用具体験会

業者の方を多数お迎えして福祉用具展示会体験会を開催しました。保護者や外部の方のご参加もいただき、安全な姿勢や移動方法確保のための支援グッズや、安全な食事のための商品などたくさんの最新情報を入手することができました（ICT支援機器の展示・体験も大変好評でした）。

